



「現状維持では、後退するばかりである」 (ウォルト・ディズニー)

ウォルト・ディズニー氏が語るように、今の幸せを維持するためにも、チャレンジすることは大切です。新しい人間関係を構築するためのチャレンジでもいいでしょう。新しい知識やスキルを身に付けるようなチャレンジでもいいでしょう。現状に満足することなく、自分を成長させていくチャレンジは、人生において絶えず必要であると考えます。



子どもたちは、「なわとび」や「暗唱」などにチャレンジしています。左の写真は、私からの挑戦状「算数の謎解き」にチャレンジし、校長室で見事に謎解きしてくれた5年生の姿です。問題文をしっかりと読み取り、文章と式に表して謎を解いてくれました。考え方も見事ですが、何よりチャレンジしてくれた心意気が素晴らしいと感じました。

算数の謎解きにチャレンジする5年生

チャレンジした満足感 ~挑戦することで得られるもの~

チャレンジすることで得られるものの一つに「満足感」があります。たとえ失敗をしたとしても、チャレンジしたという満足感は、他の何ものにもかえがたいものです。

挑戦した満足感を味わった人は、どんどん新しいことをしたくなります。そして、満足感を得たくなります。一度こうなると、どんなことに対しても恐れずに取り組むことができるようになります。この満足感は挑戦した人のみに与えられるものです。思い切って挑戦することは、新鮮なドキドキ感と楽しみなワクワク感を味わえます。

子どもたちには、そんな満足感を得て、自分を成長させていってほしいと願います。



見つけた!「冬のいい風景」

~小さな冬の探検隊~



1月31日(火)の5時間目、2階の窓から外を眺めてみたら、1年生の子どもたちと担任の先生が、緑の基地で自然観察をしていました。真っ白な雪の上をちょこちょこ歩き回る姿はとても可愛らしく、「小さな冬の探検隊」みたいだなと思いました。

小さな探検隊員は、おもしろい形をした氷柱(つらら)などを発見し、隊長(担任の先生)に報告していました。ほほえましい光景に出会い、心がほっこりしました。

後から担任の先生に聞くと、生活科「ふゆをたのしもう」の学習とのことでした。

真っ白な雪に覆われた地面は、子どもたちの小さな足跡がいっぱいでした。元気に活動した証拠ですね!